

目標達成計画

作成日: 平成 30年 3月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	歩ける方は年間を通じて良好な睡眠に繋がる日課として暑い日も寒い日も工夫して週3日以上散歩や日光浴をしてはどうか？	散歩という定義に縛られず、四季を通して日光を浴びることに主眼を置く。出来れば散歩を通して歩く喜びを感じ、四季を感じてもらえるようにする	短時間でも散歩や屋上で日光を浴びて頂く。これまでは午前中を中心に散歩の時間を設けていたが、時間的に余裕があれば散歩や屋上へ行くようにする	通年
2	10	家族が事業所に対し意見等は言い難いことを理解し、毎月の暮らしぶりの事実を居室担当が記入し便りとして家族に送付し、家族の意見をより把握できるように努力をして欲しい	家族、スタッフお互いが話しやすい雰囲気作りを行う。また、月々送付している便りで入居者の姿が見えるような便りにする	まずは運営推進会議に参加しやすいように曜日や時間の設定に関するアンケートをとり、参加者の拡大を目指すとともに、月々の便りの中に利用者の姿が見えやすいような記事を掲載していく	6ヶ月
3	3	地域密着事業として、また認知症対応型事業所として、地域の方々への理解促進や情報発信力が弱い	ほのぼのの食堂等を通して、事業所の活動を発信していく。また散歩などを通して地域の方との交流を図っていく	ほのぼのの食堂をグループホームメインで運営することで、地域の方々に活動内容や認知症に対する理解を深めてもらう。また、入居者、スタッフが日々外に出ていくことで地域の方と日々触れ合えるようにしていく	通年
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。